【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2001-240995(P2001-240995A)
【公開日】平成13年9月4日(2001.9.4)
【出願番号】特願2000-382506(P2000-382506)
【国際特許分類】
*Ｃ２５Ｄ　5/34　(2006.01)*
*Ｃ２５Ｄ　7/12　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　21/288　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ２５Ｄ　5/34
Ｃ２５Ｄ　7/12
Ｈ０１Ｌ　21/288　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】 金属酸化物を実質的に含まず、実質的に不連続性のない、基体上に配置された金属シード層を提供する方法であって、基体上に配置された金属シード層を約６．５から約１３の範囲に維持されたｐＨを有する水性溶液と接触させ、水性溶液に約０．１～５ボルトの電圧をかけ、基体を取りだし、任意に基体上に配置された金属シード層をリンスし、金属シード層を酸性電解浴と接触させ、酸性電解浴に約０．１Ａ／ｃｍ$^2$までの範囲の電流密度をかけることを含み、酸性電解浴が１またはそれ以上の酸、１またはそれ以上の銅化合物、１またはそれ以上の抑制物質および水を含み、酸性電解浴が促進物質を含まない方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１４】 工程（ｄ）の前に金属シード層を約６．５から約１３の範囲に維持されたｐＨを有する水性溶液と接触させ、溶液に約０．１から５ボルトの電圧をかける工程を含む金属シード層の表面から金属酸化物を取り除く工程をさらに含む、請求項１３記載の方法。